

写

第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価に関する意見書



令和6年8月

杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議

— 目 次 —

<u>1 はじめに</u>	1
<u>2 事務事業評価（外部評価）について</u>	2
<u>3 外部評価を実施した事業</u>	3
<u>4 評価結果</u>	4
1 公式ホームページリニューアル事業	4
<u>5 おわりに</u>	8
<u>杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿</u>	9

1 はじめに

第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指した取組みを継続的に推進していくため、町の人口減少対策の方針として令和3年2月に策定されたものである。

総合戦略では、展望人口である令和42年の総人口32,361人を実現するため、4つの基本目標と、目標の達成に向けて具体的に取り組む施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、進捗状況の把握を行うとともに、実施した事業の効果を検証し改善を行うことで、より効果的な対策の実施につなげることとしている。

このため、まち・ひと・しごと創生有識者会議委員による外部評価を行い、客観的に事務事業の実績及び効果を評価・検証することで、より一層、結果を重視した事業の推進を図ることを目的としている。

この評価結果については、町長をはじめ、町職員の皆さんが意見及び提言内容を十分参考にし、今後の事業実施に当たっていただくよう、要望するものである。

杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議
会 長 菊地 信一

2 事務事業評価（外部評価）について

(1) 事務事業評価（外部評価）とは

事務事業評価（外部評価）とは、事業の成果を行政内部のみではなく、広く公開して、住民への説明責任を果たすとともに、その意見を取り入れ、今後の行政運営の参考とする仕組みであり、住民の視点に立った、目的及び成果を重視する行政運営を目指している。

○ 計画 — 実施 — 評価 — 改善 のマネジメントサイクルの確立

PLAN（計画）
⇒ DO（実施）
⇒ CHECK（評価）
⇒ ACTION（改善）

(2) 事務事業評価の流れ

① 第1次評価（内部評価—担当課長）

各担当課が所管する事業について、担当課長が評価をする。

② 第2次評価（内部評価—町長）

第1次評価結果（担当課長評価）について、創生総合戦略の進行管理を担当する総合政策課が集計した後、町長が評価をする。

③ 第3次評価（外部評価）

行政評価に住民の意見を反映するため、外部評価として、まち・ひと・しごと創生有識者会議委員により、創生総合戦略に掲げられた各事務事業の中から対象事業を選定し、評価をする。

(3) 評価の視点及び項目

「杉戸町人口ビジョン及び杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標における数値目標に対し、これまで実施してきた施策・事業が実績として表れているか、目標に近づいているか等を確認し、重要業績評価指標（KPI）の達成状況を踏まえて、人口減少対策への効果について評価をする。

事業の評価（視点）	評価項目	
人口減少対策に効果があるか	A	非常に効果がある
	B	効果が一定程度ある
	C	効果が不十分である

(4) 外部評価結果の活用

評価結果については、庁内全体に共有し、必要に応じて、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理及び見直しを行い、事業改善を図ることを要望する。

3 外部評価を実施した事業

まち・ひと・しごと創生総合戦略の目的は、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としていることから、今年度においては下記事業を選定した。

【第2期総合戦略 基本目標】

基本目標2「杉戸町への新しいひとの流れをつくる」

施策	評価対象事業	担当課	頁
基本目標2 (4) シティプロモーションの推進	公式ホームページリニューアル事業 (シティプロモーション推進事業)	秘書広報課	7

4 評価結果

1 公式ホームページリニューアル事業（シティプロモーション推進事業）

1 評価対象事業の概要

個別事業名	公式ホームページリニューアル事業（シティプロモーション推進事業）
基本目標	2 杉戸町への新しいひとの流れをつくる
施策	（4）シティプロモーションの推進

事業概要	シティプロモーションは、地域創生、観光振興、住民協働など様々な概念が含まれ、多岐にわたるため、関係各課から情報を収集し、町全体の持つ情報を整理しながら、効果的に杉戸町の魅力を町内外の方に発信する。
事業効果	町の魅力を積極的に発信し、特に若い世代に杉戸町を知ってもらうことが、町内への移住・定住促進につながる。

R5計画				
実施内容	・公式ホームページの更新 ・テレ玉データ放送サービスを活用した情報発信 ・アグリパークサイネージシステムを活用した情報発信			
予算額 (千円)	総事業費			19,297
	財源内訳	国庫補助		9,000
		県補助		0
		地方債		0
		その他		0
		一般財源		10,297

R5実績				
実施内容	◎公式ホームページの更新 ○業者の選定 ・ R5.5.23 公募型プロポーザルの実施（3社） ・ R5.5.29 プロポーザル方式による業者選定 優先交渉権者 福泉株式会社 ・ R5.7.19 杉戸町ホームページ更新業務委託契約締結 福泉株式会社 ○ホームページのリニューアル ・ R5.8.18 全面リニューアルに伴う全体説明会（杉戸町IT推進本部委員会委員及び情報発信委員対象） ・ R6.1.11～12 操作説明会（杉戸町IT推進本部委員会委員等） ・ R6.1.31 保守契約締結 福泉株式会社 ・ R6.2.1 町ホームページのリニューアル（スマートフォンへの最適化、ウェブアクセシビリティへの対応） すぎとネット町役場のオープン（オンラインで出来る手続きを分かり易く整理したウェブサイト） ・ R6.3.29 シティプロモーションサイト「スギトゴト」の公開			
決算額 (千円)	総事業費			19,281
	財源内訳	国庫補助		9,310
		県補助		
		地方債		
		その他		
		一般財源		9,971

関連する成果指標（KPI）	R5末実績	R7末目標
町ホームページ閲覧数	1,612,412件	500,000件

2 内部評価

(1) 担当課評価【第1次評価】

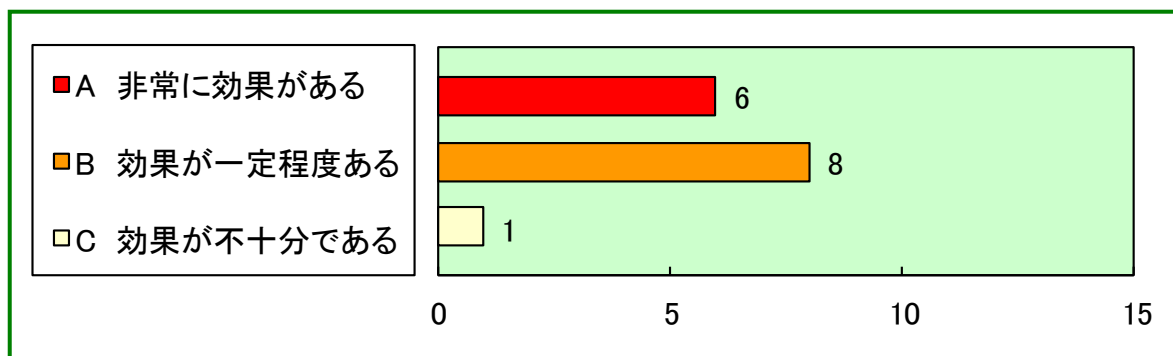
	評 価 項 目	評 価 の 理 由
事業の 評価	B人口減少対策として、一定程度の効果がある。	公式ホームページをリニューアルすることで、利用者ニーズの多様化や高度化したスマートフォンへの最適化、ウェブアクセシビリティへの対応など、誰もが利用しやすいホームページを作成することができた。また、シティプロモーションサイト（スギトゴト）を新設し、町の魅力を積極的に発信することができた。

(2) 町長評価【第2次評価】

	評 価 項 目	コ メ ン ト
事業の 評価	1. 順調である	町の魅力を町内外へ効果的に発信するためには、ホームページ等の情報発信ツールの活用は非常に重要である。すでに町ホームページ閲覧数の実績は、目標件数を超過しているが、今後もさらなる増加を目指すとともに、関係各課と連携を図り、移住定住先として選ばれるような魅力ある情報発信に努めること。

3 外部評価 【第3次評価】

評価：人口減少対策に効果があるか



委員からのコメント

- 「消滅可能性自治体」という言葉を知りました。2020年から2050年までの30年間で、若年女性人口が50%以上減少する自治体とのことだそうで、何か寒気の話ではあります。遠いどこかの町くらいに思っていたのですが、最近になって幸手市、宮代町の名が上がっていたのがわかり、（脱却したそうですが）穏やかではなくなってきました。私たちの杉戸町の深刻度はどの程度のものなのでしょうか。
水と緑の農のまち・・・美しい言葉がおどります。ですが、その先に、担い手を失った荒廃した田園風景が透けて見えることもあります。そういった危機感も伝えていく必要もあるのではないのでしょうか。
魅力発信は、一定の効果があったと感じます。地域といろいろなことで関わりを持つ関係人口のような事例も増えてきたようにも思えます。別の地域の人達と触れ合う機会を多く作っていく事が大切であると考えます。
- ホームページ利用のアクセス順が、「検索」、「新着情報」、「組織で探す」、その次が「住む・暮らし」「行政情報」「教育・子育て」「健康・介護・福祉」「観光・イベント」、次に、新設したシティプロモーションサイト「スギトゴト」の検索とのことですが、これではシティプロモーション推進事業の人口減少対策に効果はという点では、あまり効果があるとは思えません。また、ホームページに携わる職員数が少ないと伺いましたが、今後ホームページをもっと魅力的なものにするには、ある程度の人数を確保できないとホームページをリニューアルしても有効な利用が出来ないのではないかと思います。
- 町内外の方、特に子育て世代が見たくなるような魅力的なものにすることで、人口減少対策にもなると考えます。
- シティプロモーションの重要性は明らかなです。さらに、公式ホームページのリニューアルと共に充実を図って欲しいです。シティプロモーションの課を作るのも一つの案であると思います。
- ソフトとハードの連携（ホームページの連動や施設等の受入れ体制）によるシ

ナジーの創出が必要です。

- リニューアルしたばかりなので、今後に期待します。
- 杉戸町宣伝大使や応援サポーターの活用幅を広げていけたらいいと思います。
例えば大使の記事は平成23年（2011年）5月22日のアグリパークのイベント参加であり、更新が必要であると考えられます。
- 秘書広報課の少人数でシティプロモーション事業を行っていくのは、労力が不足するかと考えられますが、応援していますので頑張ってください。
- 「シティプロモーション事業」の定義は、各市町によって違うと思います。ただ、基本は杉戸町の魅力を発信し、他からの移住者を増やす目的にあるはずで、単に公式ホームページをリニューアルしただけでは、本来の「シティプロモーション事業」とは、程遠いと思います。まずは、総合的なメディア戦略（メディアミックス）を構築し、その一環として公式ホームページを手直しするとの位置づけが肝要です。また、「速報性」についての吟味が必要であると思います。
- 持続的発展のために、定期的な検証と改善案の検討をしていただきたい。
- 若者・子育て世代にとって、将来、高齢になった自分が生きがいを持って過ごす事が想像できる街づくり・・・年齢と共に心身の衰えや障がいが発症した場合でも楽しく笑顔で暮らせる事が、今の高齢者・障がい者を見て想像出来るような地域社会づくりが、人口減少の歯止め、及び転出減少・転入増加へと繋がる一つになると思います。そのような点で、魅力的で住みやすい街の発信が出来る「シティプロモーション事業」は重要と考えます。
福祉的サポートが必要な家族で、子供の教育や納税に関するサポートも必要なケースなど、複数の課による連携支援を行う場合もあると思います。住民の生活に様々に関わる町長部局の19課、2推進室や教育委員会などが随時連携・情報共有しやすくする為にも、デジタル推進室や住民協働課などと連携しながらキーポジションとしての事業推進を期待いたします。
- シティプロモーション業務の一つとして、杉戸町の知名度向上、住民にとって誇りに思える町づくり、取り組み方によっては経済効果にも繋がる「フィルムコミッション」事業を、観光協会やNPOなどの関係団体と連携して行うことも検討していただきたいと思います。

5 おわりに

第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、基本目標4つに共通する横断的な目標が設定され、基本目標の実現のため、社会・経済状況の変化に対応し、様々な人や技術を活用していくことを目指している。

そのため、実施した事業の効果や内容についても、多様な視点からのチェックを行い、より効果の高い事業を実施していくことが求められる。

今回、評価を行った事業は、町の魅力を発信し、町を知ってもらうことで移住・定住の促進を図ることが目的であり、人口減少対策として大変重要な事業であるため、各委員からもそれぞれの経験を踏まえた多種多様な意見が出された。

町が行った内部評価と異なる意見、考え方や評価については、今後の事業の実施に生かしていただきたいと考える。これらの意見が、今後の総合戦略に掲げる目標達成の一助となることを期待する。

杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

1号委員（関係団体等を代表する者）7名（敬称略）

No	氏 名	備考
1	木村 三樹男	
2	松村 美知子	
3	板橋 昇	職務代理者
4	鈴木 豊	
5	宮野尾 政子	
6	横井 正樹	
7	谷藤 恵美	

2号委員（識見を有する者）5名

No	氏 名	備考
8	水野 順子	
9	中里 圭介	
10	佐々木 誠	
11	菊地 信一	会長
12	青木 恵理	

3号委員（まちづくりに関心の高い者）3名（公募）

No	氏 名	備考
13	新井 晃	
14	茂利 浩幸	
15	斉藤 智章	